

## 第 2 2 回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事要旨

日 時	令和 6 年 1 月 22 日 (月) 10:00 ~ 11:25
場 所	都庁第一本庁舎南塔 33 階 特別会議室 S2
出席者	委員) 渥美委員、今井委員、内山委員、根本委員 計 4 名 事務局) 須藤局長、有金管理部長、菊地総務課長、池永公金管理課長、宮良資金運用担当課長、春日井統括課長代理 (企画調査総括担当)、松原課長代理 (運用管理担当)、山本主任、鈴木主任、斎藤主事 計 10 名
欠席者	なし
議 題	(1) 邦銀の中間決算を踏まえた評価について (案) (2) 外銀の中間決算等を踏まえた評価について (案) (3) 債券発行体の動向等を踏まえた評価について (案) (4) その他
要 旨	<p>(1) 会計管理局長挨拶</p> <p>(2) 第 22 回東京都公金管理アドバイザー会議の公開・非公開の取り決め 本会議は、東京都公金管理アドバイザー会議設置要綱第 5 条で原則公開と定めているが、委員の意見を聞いた上で、非公開とすることができると規定している。 議題の内容を踏まえ、委員全員が非公開での実施が適当と表明したことを踏まえ、今回は非公開とすることを決定。</p> <p>(3) 議題 (1) 邦銀の中間決算を踏まえた評価について (案) 事務局 預金先金融機関 (邦銀) の経営状況について、中間決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関 (邦銀) の評価等を報告した。 委員 預金先金融機関 (邦銀) の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものとする。 委員 現状、ゼロゼロ融資の返済の本格化や企業の倒産の増加などもあり、今後、信用コストが増加する銀行も出てくると思われるので、その点も注視しつつ、モニタリングを継続していただきたい。 委員 マイナス金利の解除など大規模金融緩和策に修正などがある場合は、銀行の預金受入ニーズも変わってくると思うので、預金先金融機関で預け入れ金額が少ない銀行などに対しては、更なる預金受入等の交渉も積極的に行っていくのが良いと考える。 委員 今後、銀行の預金受入ニーズが高まれば、有利な預金金利を設定する銀行が出てくることも考えられるが、これまで通り安全性を最優先し、分散も適切に行いながら保管・運用をしていただきたい。</p>

(4) 議題 (2) 外銀の中間決算等を踏まえた評価について (案)

事務局 預金先金融機関 (外銀) の経営状況について、中間決算等を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関 (外銀) の評価等を報告した。

委員 預金先金融機関 (外銀) の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものと考えている。

委員 海外投資家による日本株への投資が増えていること等から、外国銀行による円の調達は今後も増加する可能性もあるため、引き続き、預金受入ニーズをこまめに確認するのも良いと考えている。

委員 外国銀行への預金は、邦銀に預金が偏ることによるリスクを分散させる一つの手法としても有効ではないかと考える。

(5) 議題 (3) 債券発行体の動向等を踏まえた評価について (案)

事務局 債券発行体の経営状況について、決算等を踏まえて、健全性等の観点から分析を行い、債券発行体の評価等を報告した。

委員 債券発行体の評価内容とそれに応じた債券運用の対応については、適正なものと考えている。

委員 地方債については、各地域の事情も様々であることから、個々のモニタリングを行うことや一定の分散を図ることも良いのではないかと考える。

(6) 議題 (4) その他

事務局 新たな預金先候補となる金融機関について報告した。

委員 経営・財務の健全性などの観点から、預金先とすることに異論はない。

委員 金融機関ごとの経営の方針・手法は多様であることから、新たな預金先を選定する場合は、そのビジネスモデルを的確に捉え、特性を踏まえたモニタリング・評価をしていくことも重要と考える。

以上